

～ 「佐々木こけし工房」 ～

新しいこけし創りに共に取り組める工房は白石市内ではここだけ

- 先代の佐々木克巳工人（故人）が昭和 23 年に白石市に来て、木地製作と描彩を覚えその後独立して始めた工房です。いまは 2 代目の佐々木功工人と奥様の美穂工人が後を継いでいます。
- 全日本こけしコンクールに毎年出品をしており、これまでに経済産業大臣賞・農林水産大臣賞・国土交通大臣賞・中小企業庁長官賞・林野庁長官賞・経済産業省製造局長賞、宮城県知事賞など多数の受賞歴があります。

（文：ゆこけし研究所 佐々木義彦）

～ 「ゆこけし研究所」 ～

製造業に勤務して定年を迎え、その後 3 年間の産官学連携の経験から
地元の「こけし工人」を応援したいと思い立ち
9 月に開業したところです

- 仲間を増やしていきたいと思い SNS を始めました。
友達登録よろしくお願いします。

Facebook … 佐々木義彦で登録

Twitter … ササキヨシヒコで登録

Instagram … ササキヨシヒコで登録 (yoshihikogi)

- さらに今後の様子をできるだけ公開していきます。
ご支援よろしくお願いします。

<https://ucoqueshi.com/>

ホームページ … 12 月 12 日公開

クラウドファンディング … 1 月 26 日まで実施



CAMPFIRE

「新型こけしが消滅の危機に。ブランディングでこけし工人の制作環境を守りたい。」

URL : <https://camp-fire.jp/projects/view/344397>

～ 「新型こけし」の現状を知って欲しい ～

白石市が発祥の地でありながら
市内の新型こけし工人は、いまでは5人以下に

- 全日本こけしコンクール 50 回記念誌より（平成 20 年）

・新型こけしは量産可能で市場性のあるもの

「伝統こけしを母体とし、終戦後の昭和 20 年代に白石市で発生し、急激な勢いで全国に広まったこけしのこと。」

「昭和 21 年、工房が建てられ 4～5 人のロクロ工や描彩工を雇い、製造したのが新型こけし業の出発点。昭和 29 年には約 50 軒で従業員総数は約 350 人に達した。」

「新型こけしの特徴は、分業によって完成させてもよく、自由な発想によって製作されることにある。」

「時代の要請を反映し作品には雰囲気合った詩情を誘うような題名がつけられている。」



～ ユニークでコケティッシュなこけし造りに挑戦 ～

こけしを現代の新しい発想で汲み取ります

- 挑戦 その 1

いまの時代に求められている素材や道具を探しています。

（例）FSC 木材、自然染料、新時代の加工道具 など

- 挑戦 その 2

ブランド創りにチャレンジしています。

（例）特徴ある形、新色の開発、デザイナー発掘、量産力 Up など

- 挑戦 その 3

新たな出会いの場に出ていけるように準備中です。

（例）Face To Face を意識した SNS やネットショップ など

